

新研究部会の紹介

A NEW SECTION OF RESEARCH

●新研究部会紹介ー日本オフィス学会企画委員会報告

企画委員会では、理事会からの諮問事項の審議とならび、研究部会の新設に関する検討事項も委ねられています。

現在、学会では、「レイアウト研究部会」「ユニバーサルデザイン研究部会」「国際交流研究部会」「ワークスタイル研究部会」の4研究部会が活動していますが、これに対して、企画委員会として新しい研究部会設置の可能性を検討してきました。

検討にあたっては「学会セミナー」において、参加者のみなさんに、新しい研究部会のアイデア等を募集しました。

以下が、第19回、第20回の学会セミナーにおけるいただいたアイデアの数々です。

- ・ 省エネかつ快適な OFFICE 研究部会
- ・ ワークツール研究部会
- ・ 省エネビジネス研究部会
- ・ 身体が健康になる地球にもやさしいオフィス研究部
- ・ 次世代オフィス研究部会
- ・ コミュニケーション研究部会
- ・ オフィスリスク論研究部会
- ・ オフィス風土改革研究部会
- ・ オフィス価値研究部会
- ・ オフィス文化研究部会
- ・ オフィス組織研究部会

以上を参考にあらためて企画委員会で検討した結果、以下の2つの研究部会設置の方向性を確認し、理事会に提案いたしました。

- ・ オフィス・デザイン・アプローチ研究部会（仮称）
- ・ オフィス環境設備インフラ研究部会（仮称）

理事会で検討した結果、「オフィス環境設備インフラ研究部会（仮称）」を認め、あわせて研究部会長に三機工業株式会社ファシリティ事業部次長の工藤正之氏を内定しました。

そこで、下記に新たに発足する研究部会をここに紹介するとともに、広く、研究部会メンバーを公募いたします。

興味がある方はふるって応募下さいませよう、是非をお願い致します。

（企画委員長 地主 廣明）

●オフィス環境設備インフラ研究部会（仮称）

部会長： 工藤 正之（三機工業株式会社 ファシリティ事業部 次長）

幹事：（未定）

研究分野・目的

建築物の重要な構成要素として、「意匠」「構造」「設備」があげられるがその中でも私たちオフィスワーカーの生産性に密接に関係するのが「設備」である。オフィス内の空気環境を快適に維持する空気調換設備、衛生的な水を供給し、使用した水を衛生的に排水する給排水衛生設備、オフィスの照度を一定に維持する照明設備に代表される電気設備、ICTに欠かせない情報通信設備などがある。私たちの快適なオフィス環境をささえているのがこれらの建築設備（設備インフラ）の技術である。設備インフラがなければオフィスは機能せず、しかも暑い・寒い、暗い・明るいといったオフィス環境の不満は、家具や什器の不具合よりも、はるかにオフィスでの生活の不満と快適性に直接影響し、生産性を左右する。

さらに、地球規模の課題として、温室効果ガスの削減への取り組みが重要になっている現在、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」（改正省エネ法）や「東京都環境確保条例」等法的規制からも、オフィスの省エネ対策に真剣に取り組む必要が生じている。特に公共団体ではエコオフィス計画を策定し省エネ・省資源化、環境配慮した製品の購入・使用、廃棄物の減量化とリサイクル等積極的に取り組んでいる。

建物自体に手を加えられる自社ビルオフィスに比べ、テナントオフィスでの省エネ対策は限定されているが、今後デベロッパーやオーナーとテナントが共同で省エネ対策に取り組む動きも始まっており、オフィス学会としてもオフィスの設備インフラについて研究するニーズが高まってきている。

そこで、オフィス環境設備インフラ研究部会を立ち上げ、まず緊急課題としてのオフィスの設備インフラ面の省エネ対策に焦点を当てる。まず、設備インフラ面の省エネ対策の現状調査と事例研究を行い、そこから地球環境保全のためのオフィスにおける省エネ対策について当学会からの提言をまとめたい。

（工藤 正之）